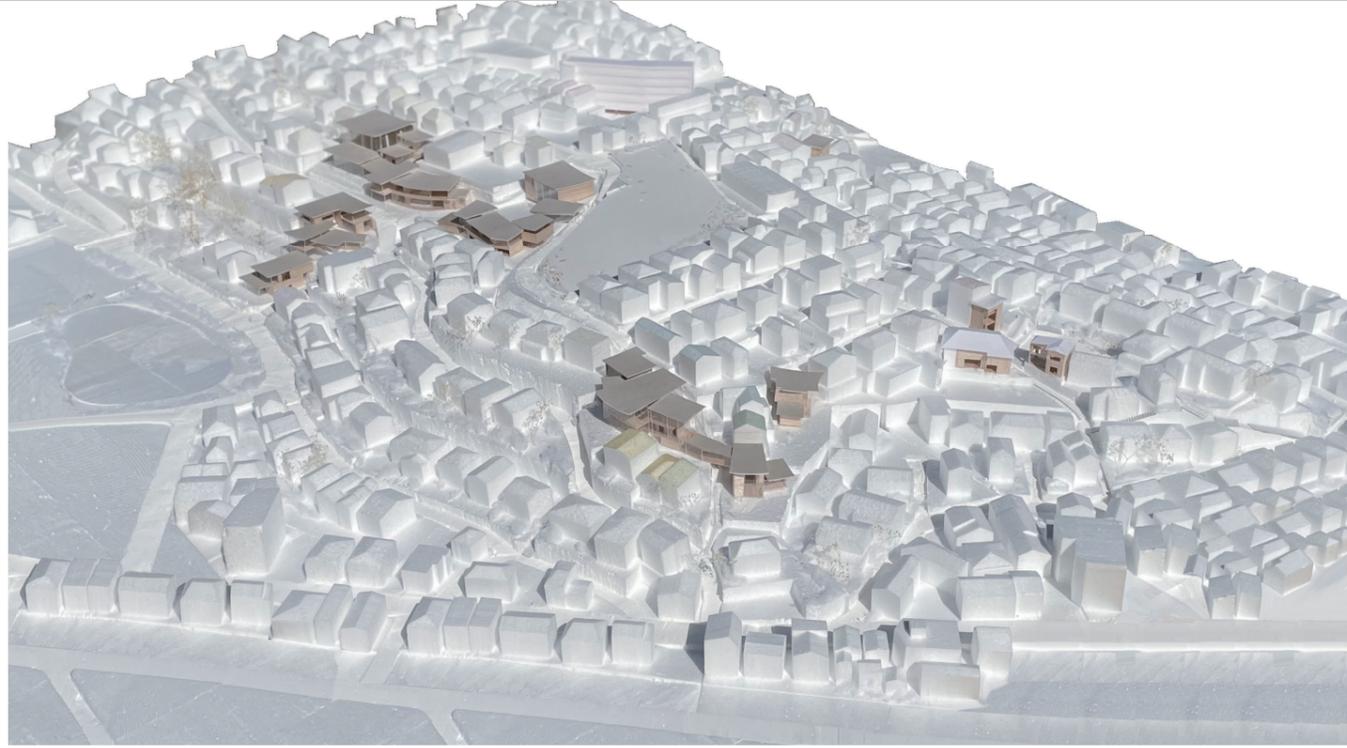


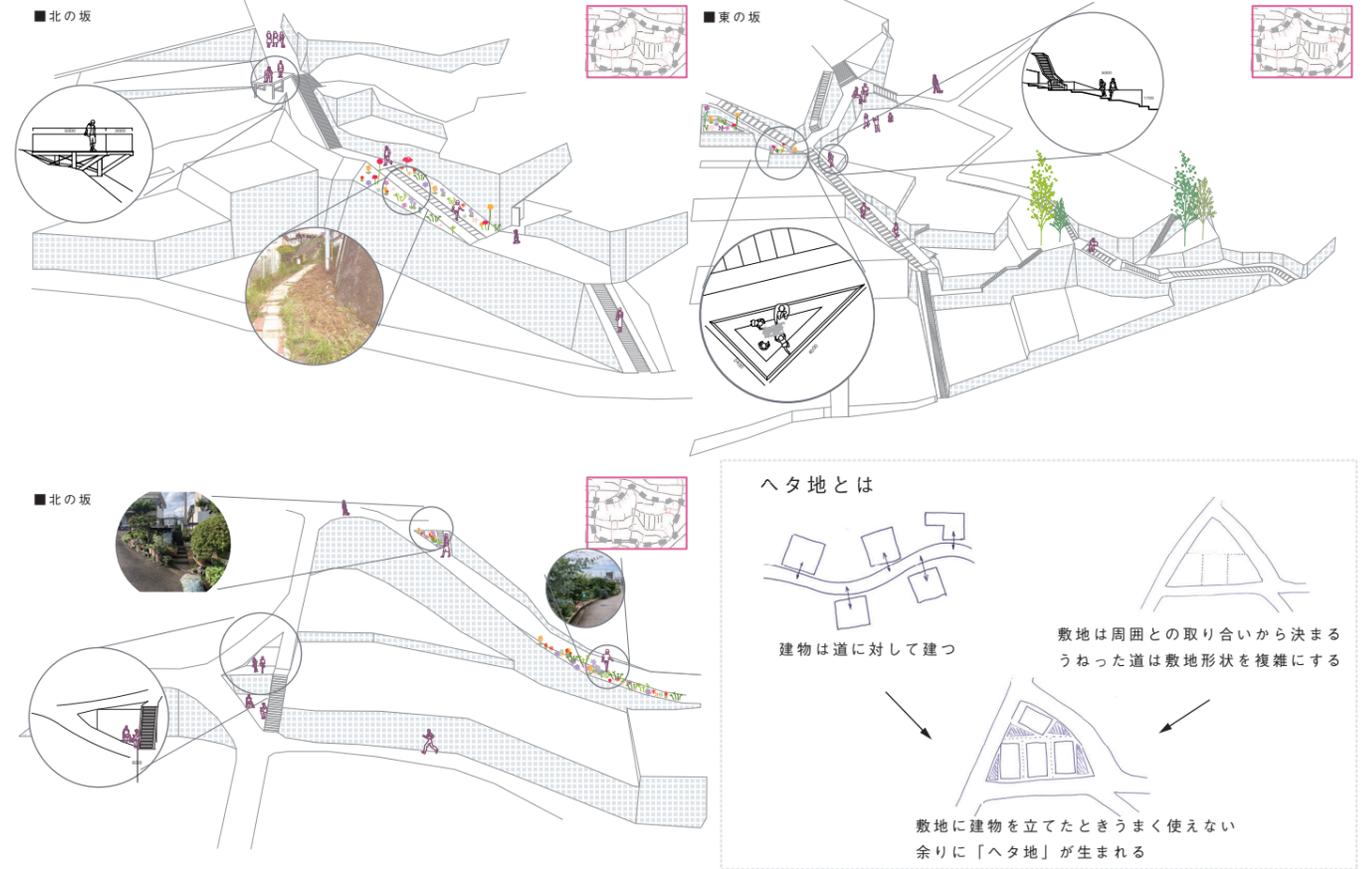
坂を登り出したら我が家 丘を一つの建築にする

藤澤太朗

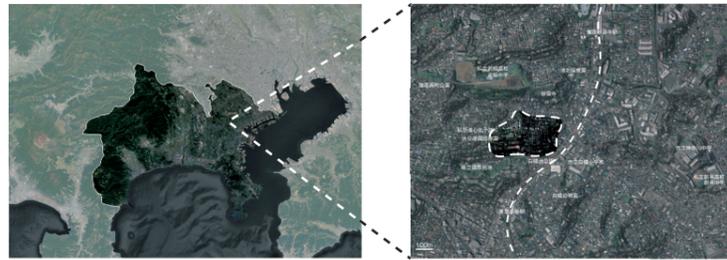


02- 丘の坂道の空間的魅力

丘⇄坂道⇄ヘタ地という空間のスケールの横断のなかで
ヘタ地と坂が変わることでこそ丘の風景を変える空間的な可能性があるのではないかと感じた。

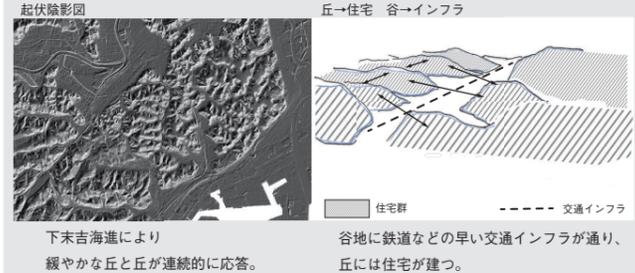


01- 敷地：横浜市港北区 篠原地区 篠原台町東の丘

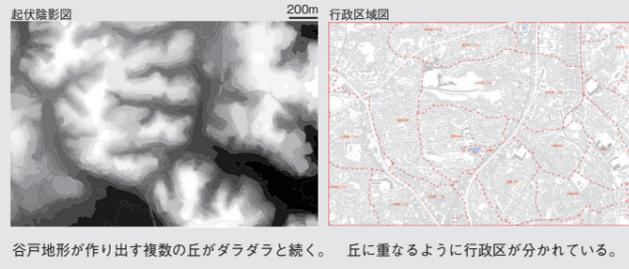


篠原地区「横浜文化名鑑」(横浜市教育委員会 1953年)の「文化関係者名簿」を見ると港北区は66人、そのうち42%にあたる28人が篠原町に住んでおり、閑静な住宅が建ち並んでいた。
元県知事公舎(庭が県立篠原苑地として公園化)、武相学園(現武相中高校:創設者 石野瑛 篠原台町住人)、横浜ドレス学院(現清心女子高校) → 丘の暮らしは文化的なことであった。関東大震災の後、横浜や東京の市街地からは政界、財界、官界の有力者、著名人が数多く移り住む。

横浜の谷戸地形



群島のような丘地形



丘の輪郭を捉える



群島のような丘地形に対して、丘を一つの建築にすると

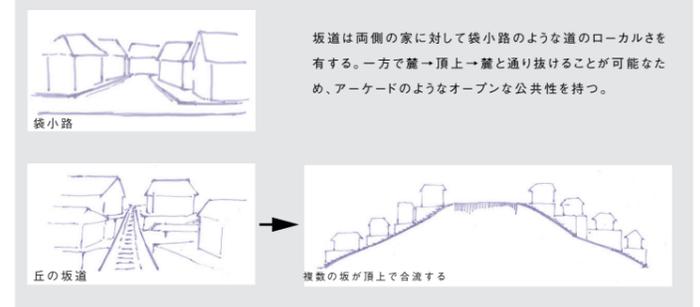
今まで住むという単機能で構成されていた風景を

それぞれの丘が色がつくように変えることが可能なのではないかと

■ヘタ地が居場所となる

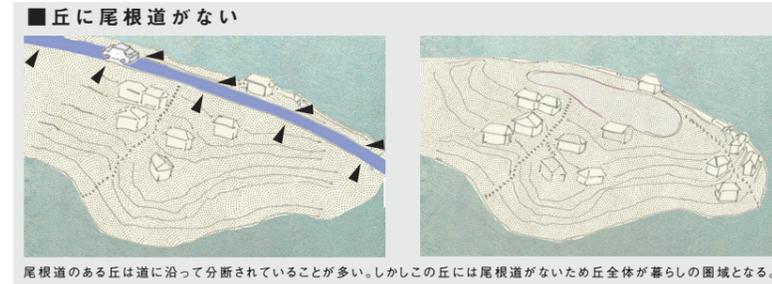


■誰でも通れるローカルな坂道

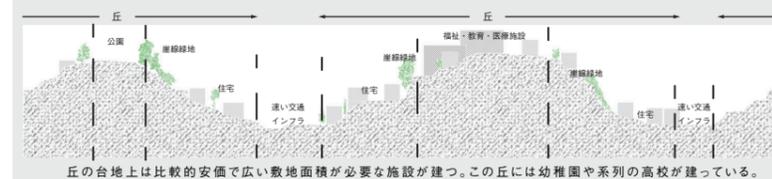


03- 提案：丘を一つの建築にする

敷地の可能性

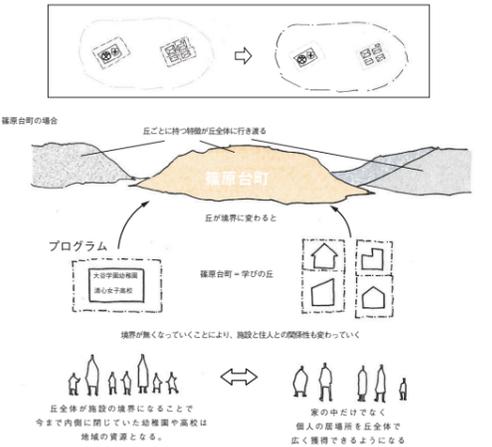


■丘ごとにある施設



敷地境界を丘に変える

誰もが使う坂道に建築を考慮することで、施設や家の境界をなくし丘全体が一つの建築になるように設計する。



マスタープラン 学びの丘

丘全体で学校・幼稚園教育は勿論、高いや園芸・本を通すことで、すべての年代の人が学べるようにする。

ショップ
もともと共用部を坂道として開放していたマンションを高いを学が場として回収する。高低差を繋ぐ際にできた踊り場の面したマンションの室をショップにリノベーション。踊り場側の壁をセットバックし手すりをなくすことで、マンションと地形を一体化させる。

**高校・体育館
ギャラリー
ホール**
地形を取り込むように、階段が壁になったり階段で通り抜けられるよう設計した。坂道状のヘタ地と呼応するように引き込む箇所をつくることで、坂道すらも取り込む。

コミュニティガーデン
造成されていない空地にコミュニティガーデンと作業小屋を考える。緑との関わりを学ぶ。

丘の書架
3軒の集合住宅に対するリノベーション。高校、幼稚園、丘の住人の本を集めた丘の書架とすることで、それぞれの学びを共有。

幼稚園、シェアキッチン
坂を挟んで建つ住宅のヘタ地に対し、設計箇所もヘタ地を生み出すように計画した。ヘタ地とそれを引き込むような空間を設計。

頂上広場

— 新築
— リノベーション

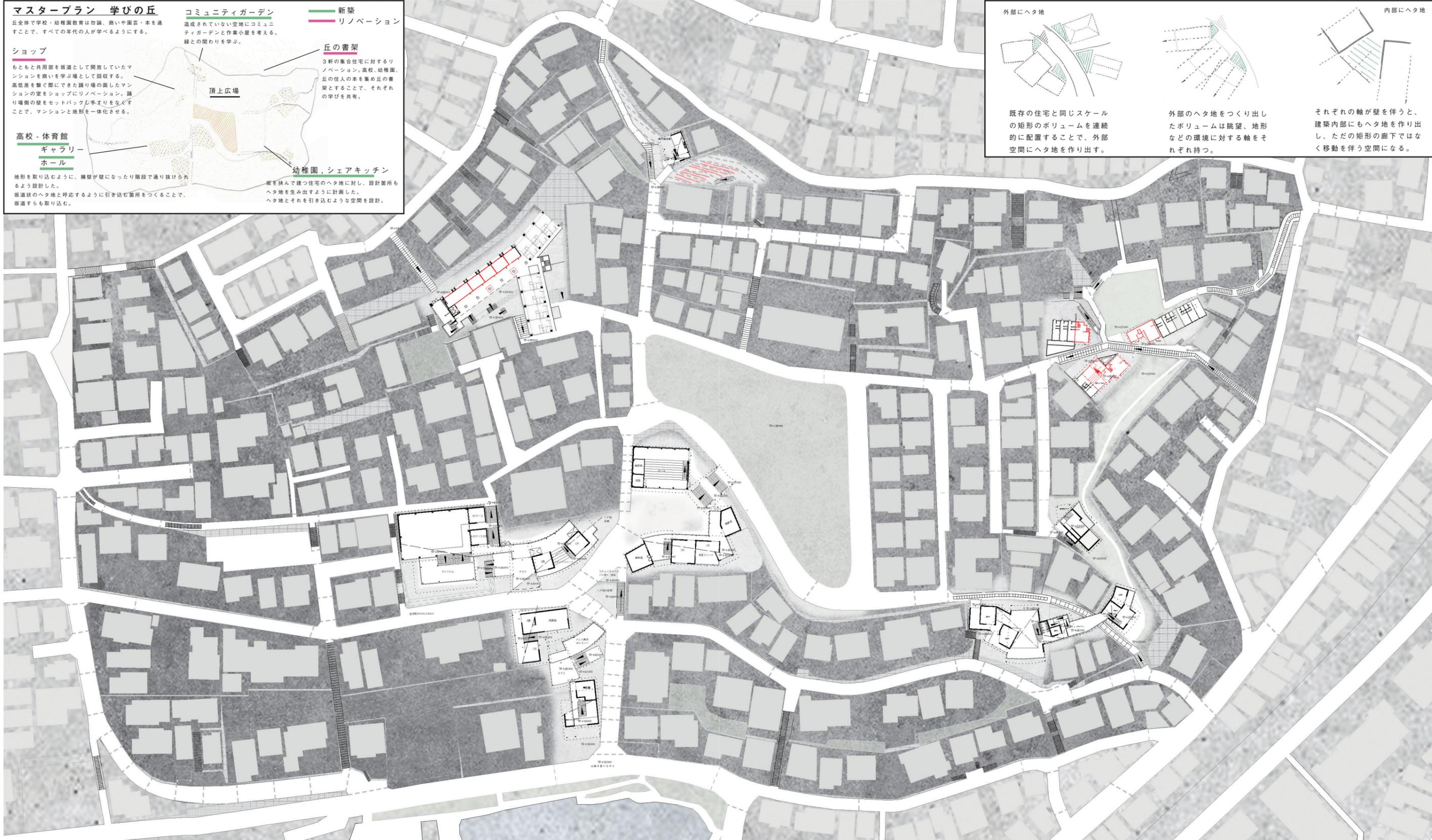
外部にヘタ地

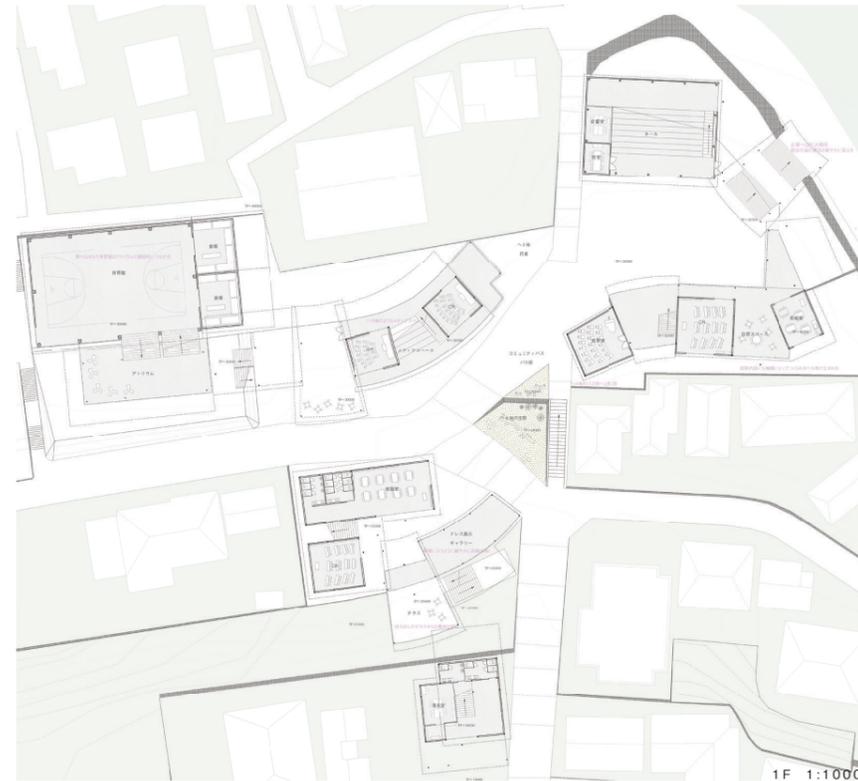
既存の住宅と同じスケールの矩形のボリュームを連続的に配置することで、外部空間にヘタ地を作り出す。

内部にヘタ地

それぞれの軸が壁を伴うと、建築内部にもヘタ地を作り出し、ただの矩形の廊下ではなく移動を伴う空間になる。

外部のヘタ地をつくり出したボリュームは眺望、地形などの環境に対する軸をそれぞれ持つ。



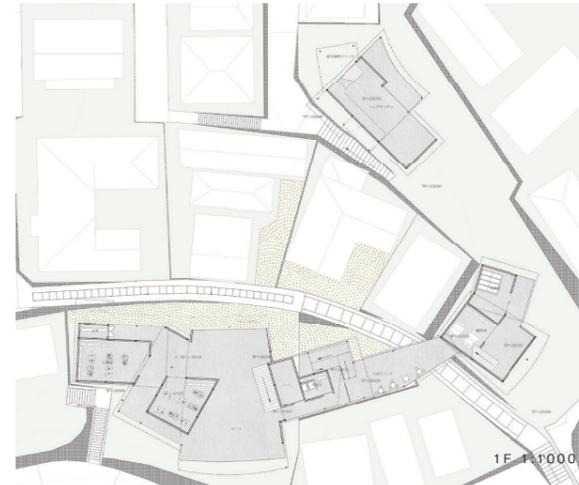
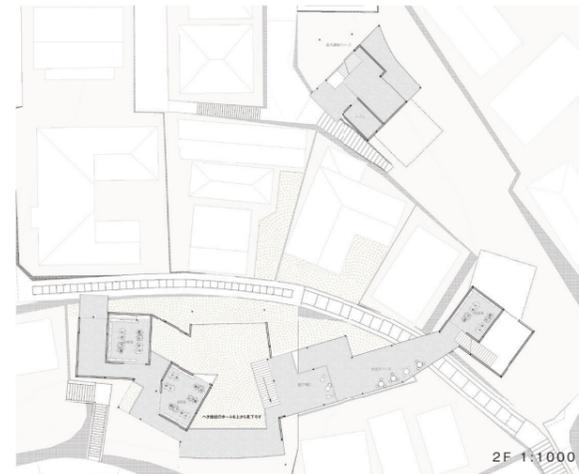


高校

丘の頂上に向かう唯一の車道である坂道。
この坂道に対する建築を以下のように変える。

- ①坂のヘタ地に対して建築が開くこと
- ②地形を繋ぐようにボリュームを積層

ヘタ地を取り込み坂に対して開くことや建築の内部動線が坂のインフラを担うことで建築自体(施設)の境界性を無くすことを考えた。

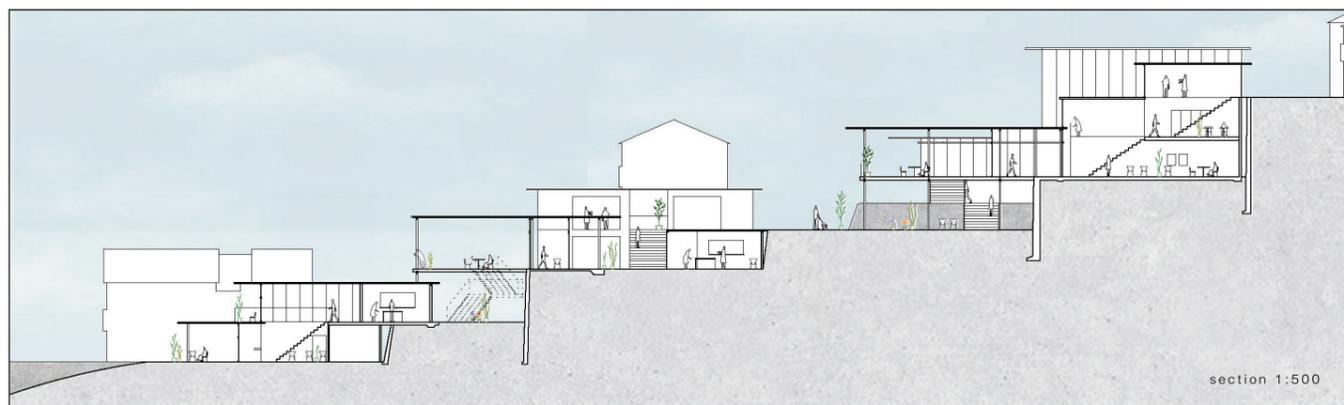


幼稚園

一本のまま、枝分かれすることなく湾曲する坂道。この坂道に対する建築を以下のように変える。

- ①既存の家が作るヘタ地と同様なスケールのヘタ地を外部につくる
- ②角度がついたボリュームにより内部空間にもヘタ地をつくる

建築の内外の空間にヘタ地のような不整形をつくりだすことで居場所としての移動空間を提案する。
外部⇄内部⇄外部と連続していくように考えた。

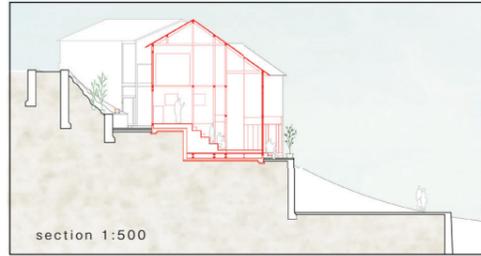
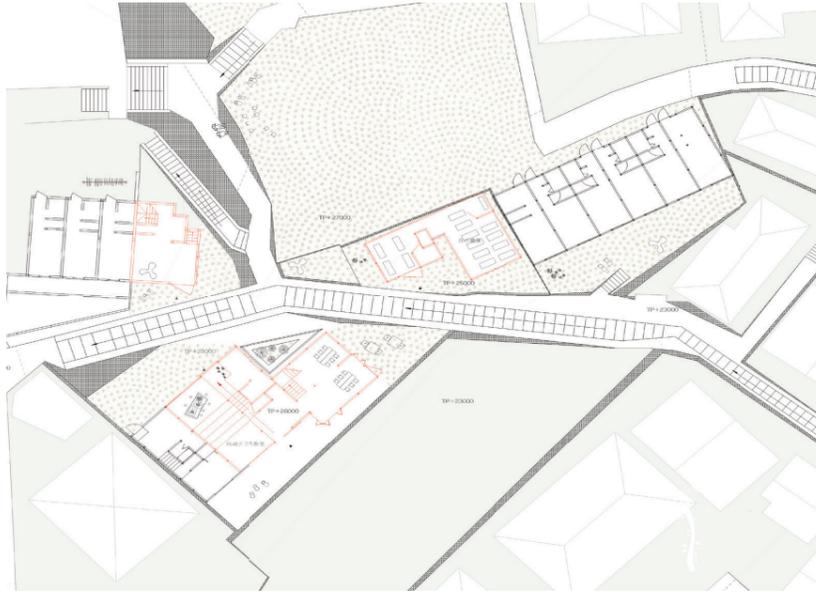


丘の書庫

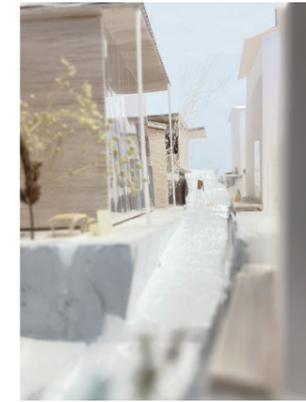
何度も枝分かれする坂道。この坂道に対するすでに建っている建築を以下のように変える。

- ① 枝分かれする道が作り出すヘタ地を活かすプラン
- ② 2つのGLを持つ既存住宅を動線として開放

今まで閉鎖的だった家が坂が開かれることで、他の家々の建ち方も変えていく。



坂を登る風景



丘の全体写真



マーケット

マンションの共用廊下が坂として頂上まで開放されている。途中には踊り場などがあり、面する住居の平面や機能を変える。

- ① セットバックさせて、踊り場を拡張
- ② 踊り場に面した室はチャレンジショップに改修

階段の一部を公共化しているということをも最大化することで、入ってくるプログラムも変えていく。

